



令和3年8月27日 立川市広報課
送付文書 計2枚

報道機関 各位

新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への支援に関する緊急 要望について

8月27日、清水庄平立川市長と永見理夫国立市長が北多摩西部医療保健圏域の6市（立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市）を代表して東京都庁を訪問し、東京都知事あての「新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への支援に関する緊急要望書」を福祉保健局長に手渡しました。

緊急要望書の内容は、別紙の通りです。

【お問い合わせ】

立川市福祉保健部健康推進課長 担当：鈴木真理

TEL 042-523-2111 内線4700

TEL 042-527-3234 （直通）

令和3年8月27日

東京都知事

小池百合子 様

立川市長	清水	庄平
昭島市長	臼井	伸介
国分寺市長	井澤	邦夫
国立市長	永見	理夫
東大和市長	尾崎	保夫
武蔵村山市長	山崎	泰大

新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への支援に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、都知事をはじめとして、東京都が一丸となって昼夜を問わず取り組まれていることに改めまして感謝を申し上げます。

多摩立川保健所管内6市におきましても、市を挙げて感染対策に取り組んでいるところですが、7月下旬からの新規感染者急増の影響は大きく、入院できず自宅療養となっている市民の数は、6市合わせて1,000人を超えております。多摩立川保健所におきましても、全力でご対応いただいているところですが、新型コロナウイルス感染症対策業務が増大し、陽性者への対応に従来よりも時間を要するなど、大変困難な状況も見受けられております。

つきましては、陽性となった方への健康観察が行き届くよう、自宅療養者支援として、医師会と訪問看護ステーションが連携して支援できる仕組みや、市と連携して支援できる仕組みの構築を求めるものです。

また、容体が急変した場合の自宅療養から医療機関への円滑な受け入れにつきまして、更なるお力添えをくださいますようお願いいたします。